



古民家を地域のにぎわいの拠点に

5/21 松賀屋 (仁尾町)

仁尾町の旧邸宅「松賀屋」を一つの村に見立て、建物の再生と地域の活性化を図る民間プロジェクト「シェアビレッジ仁尾」の開村祭が行われました。これから松賀屋は、全国1,600人の「村民」の支えのもと、交流の拠点として活用されていきます。

青空の下で、肉もっそとケニアビール最高です！



Food&Beer



Hadashi Run



歴史をつなぐ五重塔の修理現場を公開

6/4・5 本山寺

市指定有形文化財・本山寺五重塔の平成大修理現場見学会に、市内外から約900人が訪れました。参加者は、五重塔の構造や文化財価値を損なわない修理方法などの説明を受けたあと、二層部分の現場を間近で見学して歴史的建造物の継承に思いを巡らせました。

みとよHOT ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは市ホームページで [三豊市](#) [検索](#)

自然いっぱいの無人島でアウトドア・アクティビティを満喫

6/11・12 大鷲島

大鷲島を舞台にしたアウトドアイベント「瀬戸内DAYOUT 2016」が開催されました。昨年以上にパワーアップした内容で、参加者はシーカヤックやトレイルランニング、ヨガなど、多彩なアクティビティを楽しみました。



Sup



Sea Kayak

芸術家村のワークショップでアート体験♪

旧栗島中学校

栗島芸術家村に滞在している2人の作家によるワークショップがそれぞれ行われました。

5/28 八田綾子さんによる「ガラス細工のマドラーづくり」

参加者は、ガラス棒の先端をバーナーで溶かし、ピンセットで思い思いの形に成形してマドラー作りを体験しました。この日は、木の葉や星、貝殻などをかたどったマドラーができました。



ガラスの色の変化を見極めるのがポイントです

作り方をアドバイスする八田さん

5/21 青木春菜さんによる「アワシマーン星人のトートバッグを作ろう」

栗島の形に切り抜いたフェルトの頭と、胴体を組み合わせて作るアワシマーン星人。皆さん、フェルトの色や飾りを工夫して、個性的な星人を生み出し、世界で一つのトートバッグに仕上げました。



青木さん(左)がアワシマーン星人をバッグに貼ってくれました



作品の中にはヒトデ型のマドラーも



集中してガラス棒をバーナーで溶かします



できあがり！

海底に眠るレンガが瀬戸芸の作品によみがえる

6/14 栗島北沖

芸術家・日比野克彦さんの「瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト」の新しい作品「Re-ing-A」の制作に向けて、沈没船から海底遺物(レンガ)の引き揚げを行いました。日比野さんは、水中考古学者の吉崎さんと一緒に海底調査を行い、今回引き揚げたレンガを使って、10月に開催される瀬戸内国際芸術祭2016の作品作りを行います。



海底に沈んだレンガを船に引き揚げました



(左) 水中考古学者の吉崎伸さん、(右) 芸術家の日比野克彦さん